

モテる男の 考え方と方法論

恋愛コミュニケーション術、心理学、メッセージ術 ——

頑張る人ほど、
頑張らなくても
モテることを知らない



著: 恋愛コンサルタント リュート

■著作権について

当電子書籍は著作権法で保護されている著作物です。仕様に関しましては以下の点にご注意ください。本電子書籍の著作権は作者にあります。作者の書面による事前許可なく、本テキストの1部、または全部をインターネット上に公開する事、およびオークションサイトなどで転売する事を禁じます。本電子書籍の1部、または全部をあらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、およびその他電子メディアなど)により複製、流用および転載する事を禁じます。

■使用許諾契約書

本契約は、本電子書籍をダウンロードした法人・個人(以下、甲とする)と作者(以下、乙とする)との間で合意した契約です。本電子書籍を甲が受け取る事により、この契約は成立します。

第1条(目的)

本契約は本電子書籍に含まれる情報を本契約に基づき、甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条(第三者への公開の禁止)

本電子書籍に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。また、本テキストの内容は秘匿性の高い内容であり、甲はその情報を乙との書面により事前許可を得ることなく、いかなる第三者にも公開する事を禁じます。

第3条(損害賠償)

甲が本契約の第2条の規定に違反した場合、本契約の解除にも関わらず、甲は乙に対し違約金として違反件数に金15万円を乗じた金額を支払うものとします。

✓この書籍でわかること

1. 99%のモテない人がやりがちな行動
2. 女性に好かれたいワケがないモテる人の考え方
3. どうすればモテ度をブーストさせることができるか

■はじめに

こんにちは！リュートです。

この度は僕の無料LINE配信に登録していただき、ありがとうございます。

僕は、学生～社会人時代に**500人以上の女性と出会った経験**を活かして、
現在は専門の**恋愛コンサルタント**として働いています。

恋愛の駆け引きや、人間の心理を詳細に理解しているので

恋愛に困っている方々のサポートやコンサルティングなどもしています。

これを読んでいるあなたは、もしかしたら

「**女性の心理・欲求の理解**」「**マッチングアプリの攻略法**」「**メッセージの極意**」

ということに馴染みがないかもしれません。

しかし、

- ✓女性にモテるようになりたい
- ✓自分好みの女性の彼女が欲しい
- ✓本当に理想的な相手と結婚したい

と思っている人にとって、

全て必要になってくるポイントになります。

そんな必要な情報を今後の発信していくので、ぜひ受け取ってってください。

また、恋愛相談もお気軽にLINEでご相談ください。

それではさっそく見ていきましょう。

■モテない人がやりがちな失敗ポイント7選

モテない人が女性になかなか好かれたい最大の理由は、「失敗」を重ねてしまうからです。

失敗といっても大きな失敗をするというよりは、小さい失敗を重ねてしまうケースが多いと思います。

女性に好かれやすくなるためには、モテるテクニックよりも、まず「失敗しないこと」がなによりも大事です。

失敗さえしなければ、嫌われたり、無関心になられることはまずないからです。

まずはありがちな失敗ポイントを見ていき、失敗を犯さないように回避しましょう。

モテない人にありがちなポイントは以下の7つです。

※1つでも当てはまっていたら要注意です。

1. 相手目線の言動ができていない
2. 清潔感がない
3. しつこい
4. ネガティブ思考
5. 優柔不断

6. 上から目線

7. 自慢話をする

1. 相手目線の言動ができていない(空気が読めない)

相手目線に立った言動ができないと、どんなイケメンでもモテません。

相手の気持ちに反したことを言っても不快になってしまいますよね。

別の言葉で言い換えると、「**空気が読めない**」ということです。

これは何よりも重要なはずなのに、できていない人が多いのが現実です。

反対に、こちら側の事情を把握した上で配慮した言動をしてくれる人には、自然と好意が湧いてきませんか？

「相手目線」は訓練ですぐに上達するので、日常の生活で意識するのがオススメです。

友達、職場の同僚、家族など、身近な人で「今あの人は何を考えてるんだろう？何を欲してるんだろう？」と想像してみてください。

その上で、答え合わせをするように言葉を投げかける。

その繰り返しをしていれば、女性が何考えているかのイメージが付きやすくなってきます。

2. 清潔感がない

これは「相手目線に立っていない」ことに共通していると思います。

99%の女性は、「清潔感がない人と一緒にいるのはイヤ」と思ってるはずだからです。

正確に言うと、「清潔感がない人と私が一緒に居ると、私の格が下がるからイヤ」といったほうが正しいでしょう。

これに関してはあなたの格さえ下がらなければよいので、最低限清潔感があるような格好をしましょう。

基本的には服のサイズが体に合っていて、ヨレヨレじゃなければ良いと思います。服の色も無難でOKです。

ちなみに、

今のユニクロは服の繊維も昔よりかなり高品質で安価なので、ユニクロはオススメですよ。

ZOZOも自分のサイズがわかりやすい仕様になっているので、お店にいかずともピッタリサイズの服を買うことができるので結構重宝します。

3. しつこい

一度断ってるのに、しつこく誘ってくる人ってイヤですよ。

でもこれ、自分の立場になると自覚症状がほとんどない、やっかいな性質なのです。

何度も誘うことで、その人への情熱を示していると勘違いする人もいますが、それは「その人自身のエゴ」でしかありません。

しつこくならないようにするためのコツとしては、基本的に「1回きりで済ませることを意識する」ことです。

一度誘って断られたら、1回誘って断られてるので、もう誘わない。

メッセージが返ってこなくても、1回送ってるのもう送らない。

(1週間以上空いた場合はもう一度送ってもいいと思いますが)

4. ネガティブ思考

これは決して、ネガティブ思考の人が悪いとか、そういうことではありません。

僕は今となってはポジティブ思考な人間ですが、全員ポジティブな世界だったらバランスが悪くて、地球が滅んでしまうと思うので、**ネガティブ思考は地球規模で見ても必要な存在だと思っています。**

言いたいのは、「**ネガティブ思考は自分の中で留めておくべき**」ということです。

一緒にご飯を食べてる中で、ネガティブな会話をされたら誰でもいい気分にならないです。相手も大人なので、見かけ上は話に乗ってくれるとは思いますが、テンションは上がりづらいので、いい印象は持たれません。

5. 優柔不断

これもネガティブ思考と同様で、優柔不断さは人前では出さない方が無難です。

時間がないのに、「う〜ん、、」と悩んだ挙句に決められない人は、相手を不安にさせてしまいます。

決断力がない＝人生の大事なシーンでも決断できない＝この人と付き合うのは不安
という図式が成り立ってしまうからです。

裏を返すと、本当は優柔不断でも、「人前ではスパッと決めてしまう」演技をするでも良いと思います。

6. 上から目線

対等な関係同士のはずなのに、「なんで上から目線なの？」って思っちゃいますよね。

相手とフラットな目線、もしくは少し下から謙虚な姿勢でいるくらいのほうが好感度が高いです。

特に最初の関係値を築く上では、謙虚な人のイメージを植え付けたほうが好感度は高くなります。

7. 自慢話をする

自分を大きく見せたり、自慢したくなる気持ちはよくわかりますが、残念ながら地球上のあなた以外に自慢話に興味を持ってくれる人はほぼいないと思ったほうが無難です。

むしろ、「自慢＝恥ずかしい」くらいのマインドのほうが尊敬されます。

ただし、「甲子園に出た」などの、自分の映えある実績は堂々と胸を張って言った方がいいと思います。

自慢には「驕り(おごり)」という、いい気になったり、思い上がった要素が含まれるからです。

そのおごり要素を含まずに、実績だけ淡々と伝えて、「あれ、この人すごくない？」と思わせる言い方に転換するのがスマートな自慢の仕方だと思います。

■モテる人は女性の心理や欲求を理解している

ここまでで、モテる人が失敗しないポイントを抑えていることがわかりました。

でも、失敗しないだけでは嫌われはしなくても、友達レベルの無難な存在でしかありませんよね？

モテる人は、恋愛における女性の心理や欲求を理解しているので、友達レベルから恋愛レベルまで昇華させることができるのです。

恋愛における女性の心理って、なんだと思いますか？

女性の心理は複雑と思いがちですが、2つのポイントに整理できると僕は思っています。

- ・目的達成よりも、共感してほしい
- ・言わなくても、察してほしい

この2つを抑えておけば、好かれる可能性はグッと上がります。

・目的達成よりも、共感してほしい

「女性はなによりも共感してほしい生き物」という言葉を耳にしたことはありませんか？

あれは誇張したことでもなく、本当なのです。

そのバックボーンは、人類の狩猟採集時代まで遡ります。

男は「家族を養う」という目的達成のために狩りにいき、女性は「子供を守る」ために共感してもらう必要があったのです。

どういことかという、狩猟採集時代の人類は、人々が助け合いながら生きていました。

女性や、子供の体調が悪かったりすると、よその人から心配してもらえないと、助けってもらうことはできません。

つまり、女性の生存戦略として、よその人に「共感してもらう」ことが何よりも重要だったのです。

我々の遺伝子の進化は非常に遅く、狩猟採集時代の遺伝子を引きずっています。

農耕社会から産業社会になるまでの期間が大変短かったため、遺伝子が追いついていないのです。

ですので、男性と女性の根本的な考え方の間には、とてつもなく大きな差があるということがわかります。

「男は目的脳、女は共感脳」という具合です。

その差を認識し、「共感脳」の女性に合わせた言動をすることから始まります。

具体的にどうすればいいかというと、

女性からの話題は5個中、4個は共感し、1個くらいは違うベクトルに向かわせる返答をするのが良いと思います。

全部共感しすぎても胡散臭いので、意図的に少しハズすといった感じです。

また、女性からの相談事や悩みは、全て共感してあげることが大事です。

例えば、

「上司からの仕事の依頼が多くて大変」

という悩みを女性から伝えられたとします。

「目的脳」の男性からすると、

「どういう依頼が多いの?」「どうやったら1つ1つの作業時間を圧縮できるのかな?」などとマジレスしたくなるのですが、間違ってもマジレスはしないほうがよいです。

共感してほしいのに、マジレスされた女性は気持ちの整理が追いつかなくなるからです。

この場合はひたすら「共感」してあげましょう。

【相談内容が「上司からの仕事の依頼が多くて大変」の場合】

○:「上司からの仕事の依頼が多くて大変なんだ、それ辛いね。。」

×:「どうやったら1つ1つの作業時間を圧縮できるのかな?」

といった具合ですね。

・言わなくても、察してほしい

9割以上の女性は、自分の気持ちをハッキリと伝えない傾向にあります。

むしろ、「察してよ」とすら思っているのです。

結論から言うと、察することができない男性はよほどのハイスペック出ない限りはモテません。

例えば女性から「あなたとデートしたい」というシグナルを発していたとしても、それに気がつけず、チャンスを見逃してしまうからです。

「察せなくても、男性からグイグイアプローチすればいけるんじゃないの?」と思うかもしれませんが、

しかし、コミュニケーションはキャッチボールの連続ですから、相手のシグナルを見落としながら相手をその気にさせるのは**ほぼ不可能**です。

女性の気持ちを察するのが難しいと思いがちですが、「付き合う前の女性の気持ち」にポイントを絞った察し方であれば、そこまで難しいことはありません。

なぜなら、付き合う前の女性の考え方というのは、ほぼほぼパターン化されているからです。

相手の感情だけにフォーカスして読み取るのは難しい場合もありますが、おおよそのシチュエーションから客観的に気持ちを想像することができます。

そのシチュエーションから想像できる女性の気持ちと、今の女性の表情や立ちふるまいを照らし合わせれば、察することはさほど難しくないので。

例えば、あなたが2回目のデートをこれから女性としようとしていて、あなたは、女性があなたのことをどう思っているか、気になりモヤモヤしていたとします。

2回目のデートはOKをもらっている状況なのであれば、1回目のデートよりも2回目のデートはよほどいいと思わない限りは女性はデートにOKしないので、あなたのことを好意的に思っている可能性が高いです。

これがシチュエーションから客観的に想像できる、女性の気持ちです。

それからあなたは女性と2回目のデートにいきました。

女性はとびきり似合ってる可愛いファッションで、化粧も髪の毛もバッチリ決めてきました。

デート中は、あなたと横並びで歩く距離感も近くで歩いてくれています。

ここから察することができるのは、あなたのことを好意的に思ってくれているということです。

反対に、歩く距離感が知り合いレベルくらい離れていると、そこまで距離はまだ縮められていないと察することができるでしょう。

(ちなみに距離が離れてても、これから縮めればいだけなので気にしないでOKです)

このように、シチュエーションと相手の行動からおおよその気持ちを察することができます。

「相手の行動だけ」という1つの軸だけでは、正解を絞り込む難易度はやや高いですが、「シチュエーションから読み取れる感情」の2つの軸で絞り込めば正解率はグッと上がります。

■さらに、マインドも仕上がっているとモテ度がブーストする

モテる人は恋愛テクニックを自由自在に操れるだけではなくて、マインドが成熟しているので女性にモテまくっています。

ここでいう「マインド」というのは、結果を出すための「姿勢・考え方」を指します。

わかりやすい具体例をあげると、

恋愛テクニックが巧みだけどマインドは残念なイケメンAさんと、

恋愛テクニックが巧みかつ、マインドが仕上がっているフツメンBさんがいたとします。

イケメンAさんは持ち前のイケメンと恋愛テクニックで女性の心を掴むのが上手です。

しかし、何かコトが起こるとすぐ人のせいにしたりするほど責任感がなくて、自分からデートプランを立てられず、女性に丸投げしてしまうような思いやりのない、残念なマインドの持ち主です。

イケメンかつ恋愛テクニックがうまいので、女性からの食いつきはすごくいいのですが、マインドが残念なので、女性とデートを重ねるたびに、ガッカリされるが増えていきます。

最終的に付き合える女性というのは限られてきて、

「イケメンだし、一緒にいて楽しいから付き合いたい」という面食いな女性くらいしかAさんの周りには残りませんでした。

一方で、

フツメンBさんは恋愛テクニックも備わっている上に、

なにか問題が合っても「自分の行動次第で防げたはずだ、ごめん。」と責任感が強く、女性の気持ちを思いやったデートプランを立てられる、素晴らしいマインドの持ち主です。

フツメンBさんはイケメンAさんと比べると、最初から多くの女性にたくさんアプローチをされるわけではありませんが、出会った女性の心を確実に射止めていきます。

女性はBさんと接するたびに、そのマインドの素晴らしさに惹かれていきます。

しかも、恋愛テクニックも巧みなため女性はどんどんBさんに夢中になっていきます。

マインドが素晴らしいBさんの周りには、マインドの素晴らしい素敵な女性がたくさん集まり、選択肢が有り余るほどモテまくっていました。

いかがでしたでしょうか？

わかりやすい例としてマインドが残念なイケメンと、マインドが素晴らしいフツメンを出しました。

これは誇張しているように思われますが、僕が実際に見てきたイケメンやフツメンを題材にしているので、かなり現実味があるエピソードだと思います。

僕が言いたいのは、恋愛においては「恋愛テクニック」もすごく重要だけど、それ以上に「マインドが本当の意味でのモテ度を決める」ということです。

「恋愛テクニック」というのは女性をその気にさせられる素晴らしいものですが、その大半が付き合う前のシーンでしか使いません。

それ以上に永続的にあなた自身の魅力を最大限に高めるのは、恋愛テクニックではなく、「マインド」そのものなのです。

もちろん恋愛テクニックも魅力を高める効果はありますが、マインドの比になりません。

これは余談ですが、マインドが仕上がっていくと会社の評価も高くなり、確実に昇進することができます。

しかし、マインドは人間の思考方法そのものなので、それを1~2ヶ月ほどの短期間でマインドを上げることが難しいのが正直なところです。

半年~1年以上はかかると思います。

僕は、超優秀なメンバー数人が立ち上げたベンチャーの会社に新卒1期目としてたった一人で入社しました。

僕が戦力にならないと会社が成長しなかったなので、そこでは徹底的にビジネスマインドを叩き込まれました。

責任感、企画力、行動力、リサーチ力、分析力、ポジティブ思考、やりきる力、強みを磨く力、、などなど。

(マインドとスキルが混在してますが、便宜上入れています)

もちろん、ビジネスマインドはマインドそのものです。

僕はそのマインドが備わったおかげで、たくさんの素晴らしい女性と出会い、お付き合いする機会に恵まれました。

具体的にどういったマインドがモテるのは、今後の発信でお伝えしていく予定です。

今回は以上となります！

P.S.

僕の今後の配信では、本当にモテる人のマインドと恋愛テクニックに関して発信していきます。

なので、継続的に僕の配信を見ていただくと、マインドや恋愛テクニックがどんどん身につけていくはずですよ。

ぜひ気になった部分などあればLINEでコメントいただくと嬉しいです。